

## 令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 66

千葉県立野田中央高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 期待する生徒像

基本的な生活習慣を身につけ、本校を強く志願し、目的を持って高校生活に取り組もうとする意志があり、かつ、次のアまたはイのいずれかに該当する者。

ア 人物・学習成績が特に優れ、意欲的に高校生活に取り組む意志のあること。

イ 人物・学習成績が優れ、部活動の顕著な成績を有し、入学後も継続して部活動に加入し、三年間取り組む意志のあること。

### 2 選抜資料

|         |  |
|---------|--|
| (1)学力検査 | 5教科の学力検査の得点  |
| (2)調査書  | 中学校の校長から送付された調査書   |
| (3)自己表現 | 次のいずれかを、出願時に志願者が選択<br>ア スピーチによる自己表現<br>与えられた課題に対して1分程度のスピーチを行う。<br>実施形態：個人で発表 検査時間 約4分（準備・質疑を含む）<br>イ 部活動実技による自己表現<br>次の部活動実技のうち1つを選択<br>野球（男）・バスケットボール（男女）・ソフトボール（女）<br>陸上競技（男女）・レスリング（男）・サッカー（男）<br>バレーボール（女）・ソフトテニス（男女）・硬式テニス（男女）<br>吹奏楽（男女）・演劇（男女）<br>実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施）<br>検査時間：1人あたり20分程度 |

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査〔500点満点〕

| 評価項目       | 評価基準                          |
|------------|-------------------------------|
| ア 5教科の得点合計 | 5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 |
| イ 個々の教科の得点 | 10点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。      |

(2) 調査書 アの数値に、ウ及びエについて加点（上限230点）したものを調査書の得点とする。

| 評価項目                   | 評価基準  |
|------------------------|---|
| ア 教科の学習の記録             | 算式1で求めた数値を2倍した数値で評価する。<br>評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。      |
| イ 出欠の記録                | 欠席日数が各学年20日以上、3年間の合計50日以上の場合、審議の対象とする。                      |
| ウ 行動の記録                | ○の数が6個以上の場合、加点する。<br>○の数が0～2個の場合、審議の対象とする。                  |
| エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項 | 生徒会活動、部活動、学校行事、その他（資格、ボランティア活動、各種表彰等）に関して、特に優れた内容については加点する。 |
| オ 総合所見                 | 特に優れた内容等については、総合的に判定する際の参考とする。                              |

(3) 自己表現 [150点満点]

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを25点、bを15点、cを2点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各75点満点）を合計し、得点化する。評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

ア スピーチによる自己表現

| 評価項目        | 評価基準  |
|-------------|---|
| (ア) 意欲・態度   | 発表に意欲的に取り組んでいる。<br>発表の態度が適切である。                         |
| (イ) 内容・表現力  | 発表内容が整理されており、まとまっている。<br>発表内容が自らの体験に基づいており、説得力がある       |
| (ウ) スピーチの技能 | 発表におけるスピーチの基礎的スキルを身に付けている。<br>表現力豊かに、わかりやすく発表を行うことができる。 |

イ 部活動実技による自己表現

| 評価項目       | 評価基準                    |
|------------|-------------------------|
| (ア) 意欲・態度  | 当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。   |
| (イ) 基礎的スキル | 当該種目における基礎的スキルを身に付けている。 |
| (ウ) 専門的スキル | 当該種目における専門的スキルを身に付けている。 |

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

| 学力検査<br>の成績 | 調査書の得点                          |      | 第2日の検査<br>の得点 | 総得点                       |
|-------------|---------------------------------|------|---------------|---------------------------|
|             | 評定（算式1）×2                       | 加点   | 自己表現          |                           |
| 500点        | $(135 + \alpha - m) \times 2$ 点 | 230点 | 150点          | $(1150 + 2\alpha - 2m)$ 点 |

（算式1） $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値95

$m$ ：中学校評定合計平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個別面談を行う。

## 令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 66

千葉県立野田中央高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 選抜資料

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| (1)学力検査 | 5教科の学力検査の得点                      |
| (2)調査書  | 中学校の校長から送付された調査書                 |
| (3)面接   | 受検者5～6名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分 |

### 2 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査

| 評価項目       | 評価基準                          |
|------------|-------------------------------|
| ア 5教科の得点合計 | 5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 |
| イ 個々の教科の得点 | 10点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。      |

#### (2) 調査書

| 評価項目                   | 評価基準  |
|------------------------|---|
| ア 教科の学習の記録             | 算式1で求めた数値で評価する。<br>評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。                                 |
| イ 出欠の記録                | 欠席が各学年20日以上、3年間の合計50日以上ある場合は、審議の対象とする。  |
| ウ 行動の記録                | ○の数が0～2個の場合は、審議の対象とする。  |
| エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項 | 生徒会活動、学校行事、部活動、その他（資格、ボランティア活動、各種表彰等）に関して、特に優れた内容とみられる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 |
| オ 総合所見                 | 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。  |

#### (3) 面接

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）・d（問題がある）の4段階で評価する。  
評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

| 評価項目    | 評価基準                                |
|---------|-------------------------------------|
| ア 意欲・内容 | 志望の動機が明確である。質問内容を理解し、適切に回答することができる。 |
| イ 身だしなみ | 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。                |
| ウ 態度    | 基本的な面接作法が身に付いている。                   |

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

|                                 |
|---------------------------------|
| 令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。 |
|---------------------------------|

#### (2) その他

|  |
|--|
| ア 自己申告書が提出された場合には選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。          |
| イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。 |

### 4 その他

|                              |
|------------------------------|
| 過年度卒業者については、検査終了後、別途個別面談を行う。 |
|------------------------------|

